

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

E1 東名高速道路
豊田上郷スマートインターチェンジ開通
令和3年3月27日

輸送時間の短縮!! 物流コストの削減!!

一般国道301号
松平バイパス松平トンネル開通
令和3年3月24日

ものづくり産業の国際競争力強化!!



令和3年7月
豊田市幹線道路整備促進協議会



当市のある西三河地方は、世界をリードするものづくり産業の中核としての顔を持つ一方、超高齢社会の進展に伴う労働人口の減少、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費の増大等の課題を抱えています。

また、我が国は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会経済や国民生活等への甚大な影響、そして、令和2年7月豪雨など、連年発生する大規模自然災害の深刻な被害に直面しているところであります。

今後は、コロナ禍における感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、持続可能な経済成長を確実なものにするため、落ち込んだ民間投資の喚起、生産性の向上や国際競争力の強化等に取り組むことが重要であります。

さらに、気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない強靱なまちづくりは欠かせぬものであり、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築する必要があります。

これらの取組を進めるうえで、道路は経済の再建・成長軌道への回復を図るとともに、未曾有の危機から市民の命と暮らしを守り「新たな日常」を築く重要な社会基盤です。

このため、引き続き人流・物流を支え生産性向上に資する重要物流などの道路ネットワークの構築や、既存ストックを有効活用する防災・減災、インフラ老朽化対策などの国土強靱化を着実に進めるとともに、更に今後は、生活の質の向上に資する自動運転をはじめとするインフラ分野のDXやグリーン化に向けた新たな技術革新を積極的に取り入れ社会経済構造の変化に挑戦していく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算について、令和4年度以降の当初予算を含め、通常の予算とは別途、計画的・継続的に確保すること**
- 2 経済活動復興、安全・安心の確保や持続的な経済成長の実現、豊かで活力ある地域の形成を実現する道路ネットワークの整備について、開通見通しを早期公表するなど計画的かつ着実に推進すること**
- 3 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする国道、県道、市道のいずれもが長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和4年度道路関係予算は所要額を確保すること**

都市の持続可能な成長を実現する道路ネットワークの整備

人流・物流の定時性・速達性の向上による定住促進や生産性の向上、高次医療施設の救急搬送エリアの拡大、代替路機能の確保など、**安全・安心で成長基盤の強化に資する、豊田南・北バイパスの早期整備**が必要です。

交通課題

市街地の多くの渋滞が円滑な市民生活・企業活動を阻害

渋滞の解消・移動時間の短縮が必要

豊田市が直面する課題

生産年齢人口の減少



巨大地震への備え



交通課題

豊田厚生病院へのアクセス経路が不足

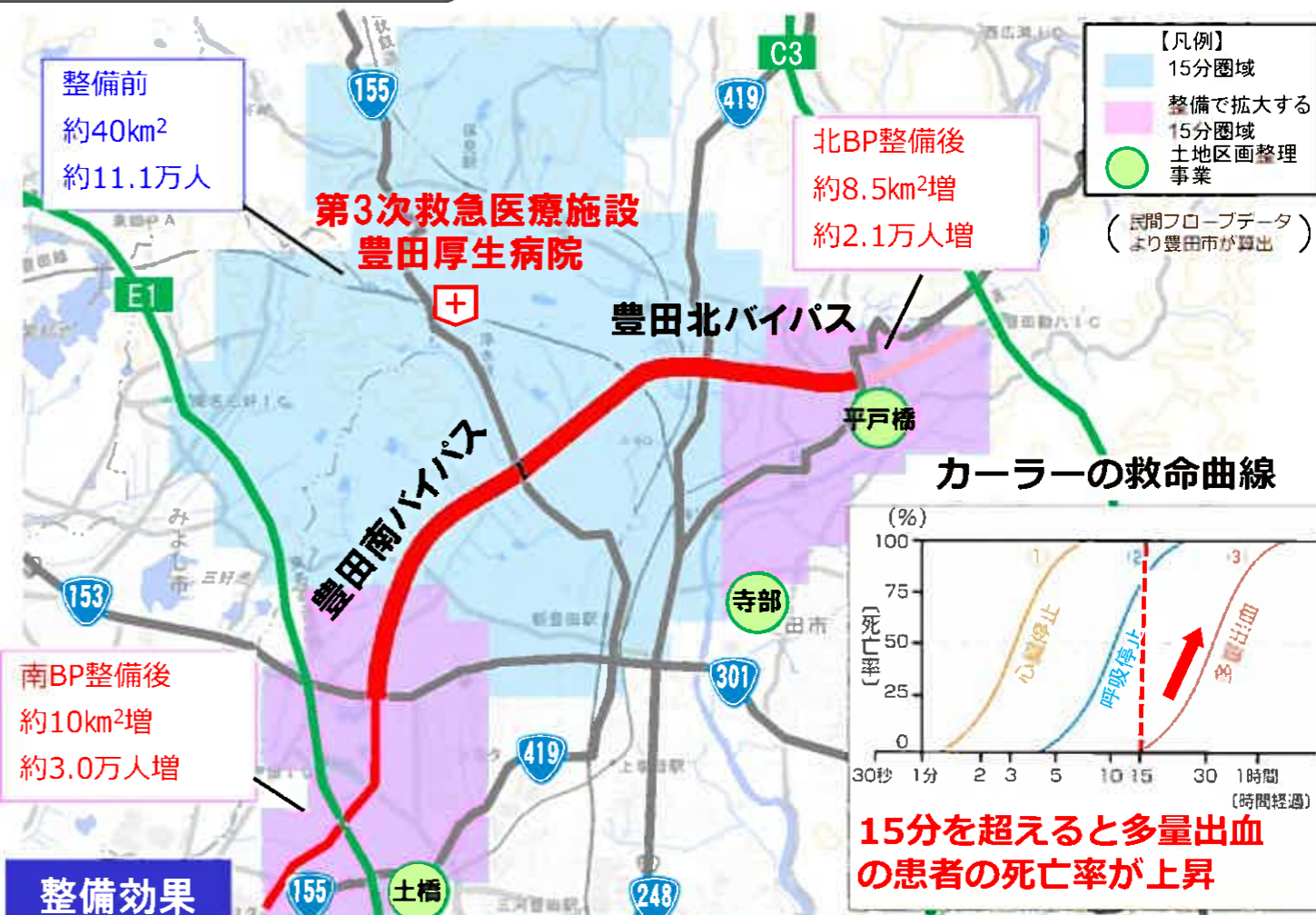
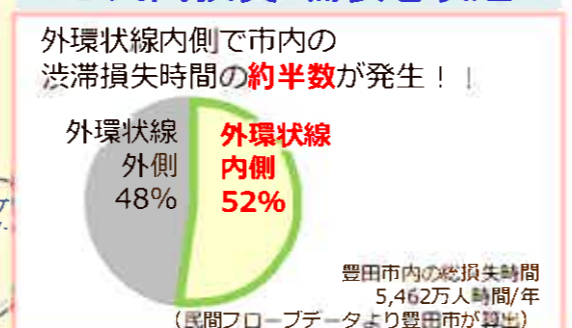
豊田厚生病院の救急医療受診エリアを最大化するアクセス経路の確保が必要



豊田北バイパスの整備を見据え立地した花本産業団地の需要が高まり拡張事業を実施



整備効果



整備効果

豊田厚生病院までの救急搬送エリア等の拡充

15分圏域面積が約1.5倍に拡大 (約40km²⇒約59km²)

15分圏域人口が約5.1万人増加 (約11.1万人⇒約16.2万人)

- 『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上
- 災害時において代替路として機能を発揮

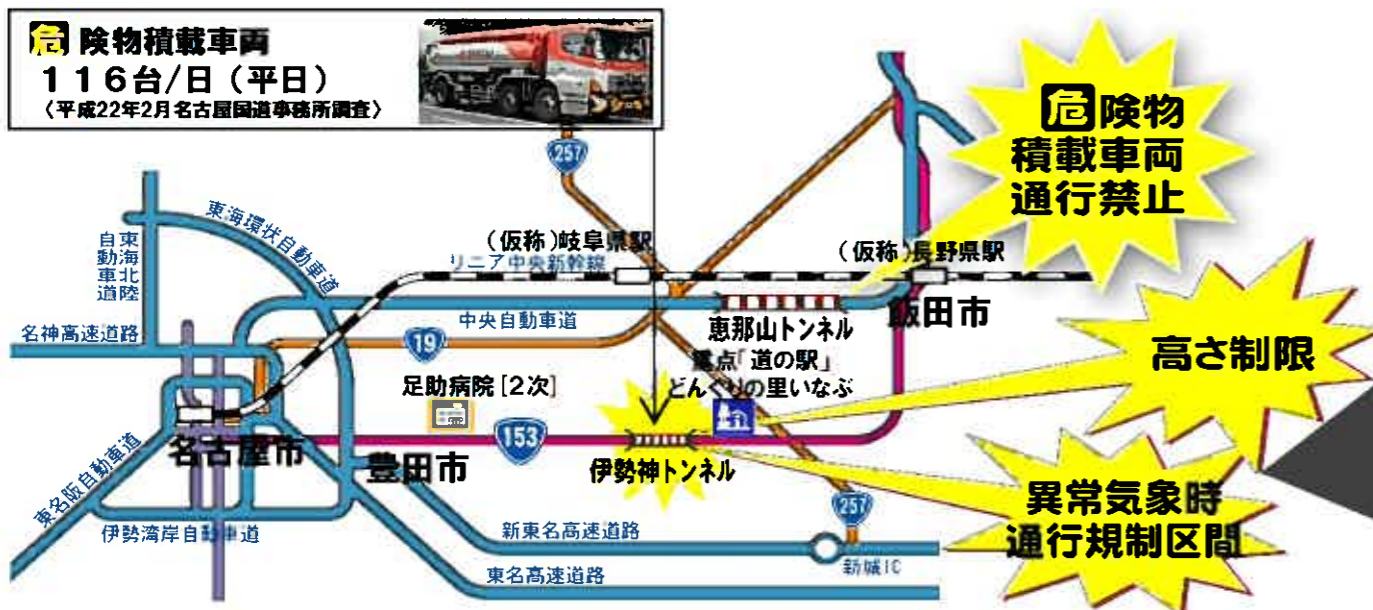
広域な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、

狭隘トンネルの早期解消が必要です。

国道153号 伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

○国道153号は、名古屋-飯田間の**危険物輸送における唯一のルート！重要物流道路に指定！**

○**リニア開通後**は稲武から足助、**西三河をつなぐ最重要路線！**



交通課題 狭隘トンネルと雨量規制がエネルギーの安定した供給を阻害

愛知県内の直轄国道で**唯一の異常気象時通行規制区間** (連続雨量150mm)が存在！



毎年のように通行止めが発生しており、H28年～R2年の直近5か年で5回、最大12時間を超える通行止めが発生

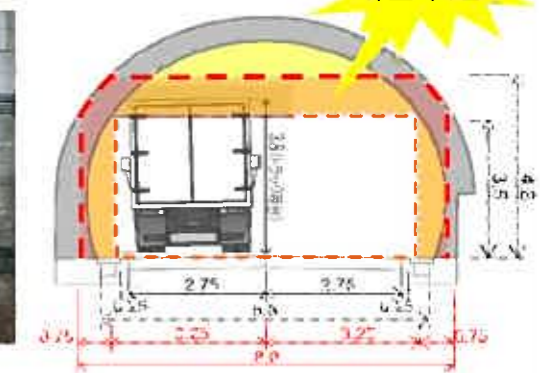
伊勢神トンネル

中部地方整備局管内の直轄国道で**唯一の高さ制限 (H=3.5m)**が存在！



大型車は中央線をはみ出して走行

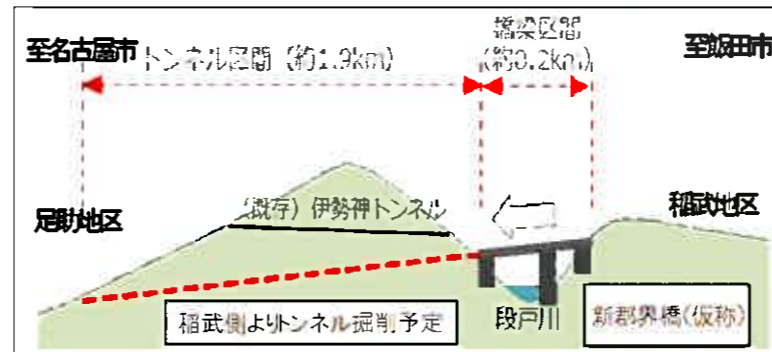
昭和35年7月完成
(昭和33年制定道路構造令に準拠)



○国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院 (3次救急医療施設)への**重要な搬送ルート！**



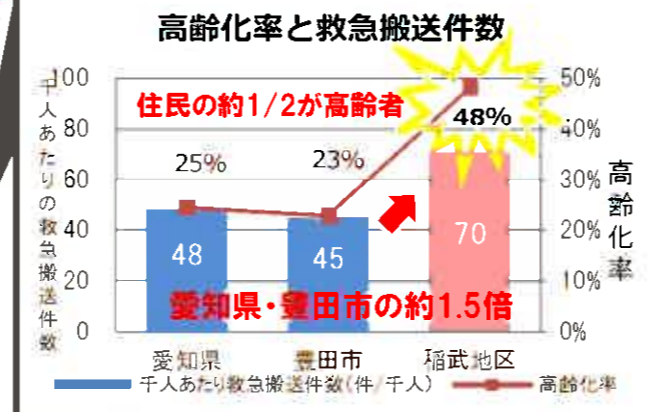
トンネルの早期完成が必要



伊勢神改良整備イメージ



- 人流・物流を途絶えることなく確保し、人命や経済損失を最小化
- 広域な危険物輸送の唯一のルートとして安定したエネルギー供給による生産性の向上
- 重点「道の駅」～どんぐりの里いなぶ～を拠点とした地方創生
- 『地域住民の命をまもる』第2次救急医療施設や『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上



愛知県消防年報、豊田市消防本部ヒアリングデータより豊田市作成

地域の声

国道153号は、稲武地区の地域医療を担う足助病院への唯一の道です。天候による通行止めが解消されれば、いつでも安心して病院へ行ける、まさに**命の道**です。

301 ものづくり産業の国際競争力強化に向けた道路整備

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

国道301号 松平バイパス～トヨタテクニカルセンター下山(Toyota Technical Center Shimoyama)へのアクセス道路整備～

- 下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンター下山は、豊田市が更なるものづくり中核都市としての持続的成長に資する重要な施設です。
- 施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備は最優先事業**です。



造成地引渡し完了 (令和3年3月24日)
事業面積 650.8ha
予定従業員数 3,850人
通勤及び関係車両 3,700台/日 (うち7割が国道301号を利用)
交通量が約1.3倍に!

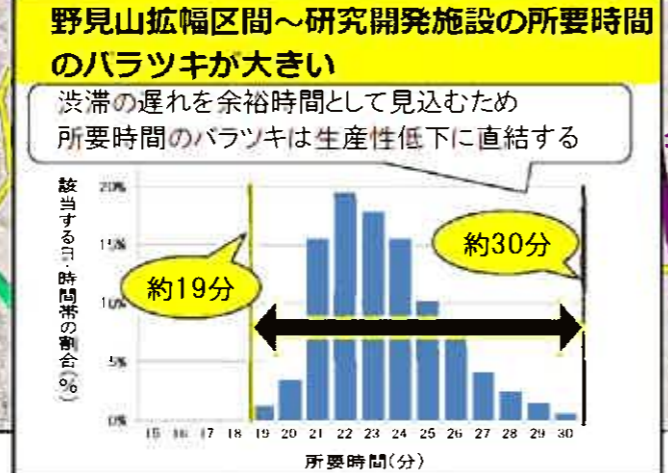


ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地
トヨタテクニカルセンター下山
令和5年度より本格稼働予定(令和元年一部稼働開始)

交通課題



交通課題



- 人流・物流の円滑化や効率化による生産性の向上等、経済活動を支援
- 第2次緊急輸送道路の4車線化により、緊急時の避難・救助機能を向上

※松平橋～大内町区間において開通区間と旧道(九久平交差点経由)の所要時間を比較

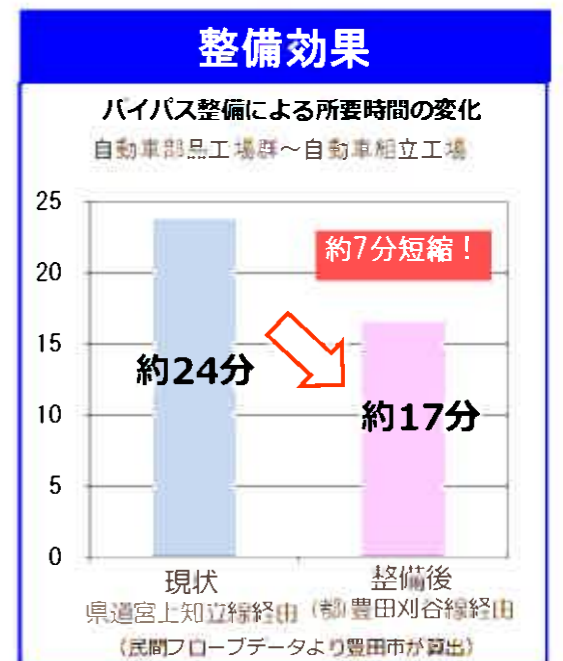
ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、**物流を円滑化し、生産性の向上に資する**道路の整備が必要です。

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ～刈谷スマートICへのアクセス道路整備～

○豊田市の南部地区は、**自動車産業における主要な工場が集積**しており、**豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中**するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○**円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現**するため、**(都) 豊田刈谷線の整備**が必要です。



- 工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強化
- 通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上
- 県道宮上知立線の代替機能を発揮、ダブルネットワーク化により災害発生時においても迅速に交通を確保



※ 乗用車輸出台数 出典：名古屋税関
 ※ 工場生産台数 出典：トヨタ自動車HP

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を支えるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

- 現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い**交通需要が増加**することが見込まれています。
- 既存の主要渋滞箇所を含め、**円滑な市民活動、産業活動を確保**するため、**国道419号の早期の4車線化整備**が必要です。

交通課題

50万人時間/年

四郷町与茂田の交差点は豊田市内で6番目に渋滞の損失時間が大きい交差点
(民間フローデータより豊田市が算出)

通勤・帰宅時には1kmを超える渋滞が発生
右折車両による渋滞状況
(四郷町与茂田交差点) (写真1)

朝の渋滞時の様子(国道419号)
(写真2)

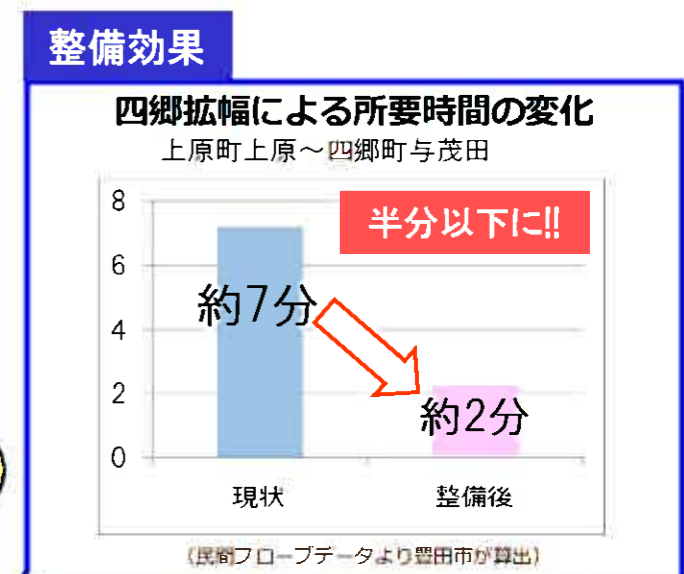


国道419号周辺土地利用状況(R2.12撮影)

●道路整備による期待感から土地利用が高度化

花本産業団地	18区画(計画含む)
四郷駅周辺土地区画整理事業	769戸(計画含む)
民間商業施設	12店舗(R3.5時点)

●ICへのアクセス性の向上が更なる生産性の向上に寄与



●交通の円滑化が民間投資・需要を喚起

災害に屈しない強靱なまちづくりや豊かで活力ある地方の創生

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全な社会の構築や都市・中山間地域を問わず持続可能で賑わいのある地域・まちを創出するため、**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等の着実な推進に向けた予算の確保**が必要です。

防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム (中部ブロック版) (直轄事業)

◆災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



◆道路施設の老朽化対策、土砂災害防止対策



◆デジタル化等の推進



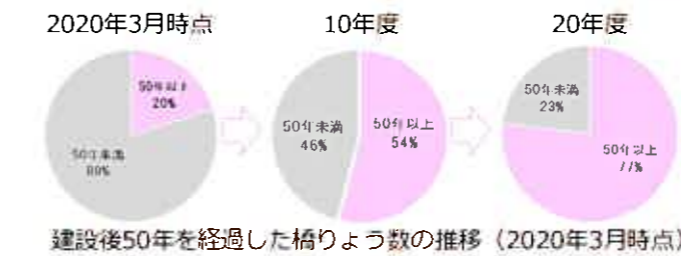
● 安全・安心を確保し、災害から国民の命と暮らしを守る

計画的なメンテナンスのための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	: 約2,550km	愛知県下 第2位
橋りょう	: 約1,200橋	愛知県下 第3位
横断歩道橋	: 40橋	愛知県下 第1位

愛知県下トップクラス
の道路施設管理数



20年後には
約80%の橋りょう
が50年を経過

予防保全型
メンテナンスの推進

- 維持管理事業費の縮減・平準化
- 老朽化を起因とする重大事故ゼロ



1巡目の橋りょう定期点検結果(H26~H30)
約120橋(約10%)が修繕対象に

長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施
91橋(約75%)完了 (R2末時点)

- 将来を見据えた持続可能で
適正な維持管理

重点道の駅「どんぐりの里いなぶ」~地方創生・観光拠点~



- 様々な機能が集約し、中山間地域の暮らしと経済活動を支える小さな拠点
- リニア開業を見据え、豊田市の北の玄関口として国内外に魅力を発信

令和3年7月15日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

太田博康

豊田商工会議所会頭

三宅英臣